



## 大きな一本の木より、木々が青々と繁る土壌こそ

この「VECてんこもり」の前々号(3月102号)に大阪成蹊大学 マネジメント学部の工藤英男教授が「細川信義先生を偲んで」と題する文を寄せています。私も細川氏(エンゼルキャピタル、エンゼル証券=3月7日にエンゼル総研に社名変更=の創業者・社長、昨年11月18日逝去)が日本の中小・ベンチャー企業支援に残した独自の業績・足跡や、暖かいその人柄を昨年11月29日に自分のブログ「ベンチャー温故知新」に書きましたが、ここでもう一度、細川さんとのお付き合いを振り返ってみたいと思います。

細川さんに初めてお会いしたのは、エンゼル証券を設立した直後の1998年2月で、当時、私がしていた日本工業新聞の連載「起業新時代」の取材で大阪・梅田の本社に行ってお話をうかがいました。その時、奥さんのさわ子さんはじめ皆さんが、学校のクラブ活動のような雰囲気 で元気に仕事をされていたのが強く印象に残っています。

その後、細川さんはエンゼルキャピタルも設立して、関西財界人有志らの出資による「〈志〉ファンド」などをつくり、ベンチャー支援にエネルギーに組み込まれましたが、特に「成功して世界的なお金持ちになる人が一人出るより、精神的にも経済的にも豊かなベンチャー企業経営者を多数輩出できる土壌づくりこそ、日本を活性化する」「大きな一本の木より、木々が青々と繁るジャングルづくりを」という理念を掲げ、「小口でも気持ちのこもった資金」を集めるのを信条にしていました。

この理念・信条に触れるたびに、私はVEC設立当初に社長会座長を務め、今もVECの理事である日本コンピュータ・ダイナミクス(NCD、本社・東京都品川区)の下條武男名誉会長の経営理念・思想も、期せずして同じだなという思いを深くします。

下條氏は1967年3月にNCDを創業。同社は2000年9月にジャスダックに上場し、今ではグループ会社を合わせ、従業員が850人ほどの規模にまで成長しています。しかし下條さんは常に、「規模を競うのではなく、社会に役立つ製品やサービスを開発・提供するのが企業の使命」という理念を実践されています。

下條さんは日本工業新聞の時代から取材していますが、細川さん、下條さん、私の3人で昨年4月27日、「新生VEC記念講演会・パネルディスカッション」の後、細川さんが大阪に帰る新幹線の時間を気にしながら、東京駅八重洲口の店で楽しく懇談したのが思い出されます(写真、右から下條氏、細川氏、私)。

細川さんは石川県・能登の生まれですが、大阪育ち。下條さんは大阪生まれの大阪育ち。ともに大学は数学科というのも共通しますが、日本に「大きな一本の木より、木々が青々と繁る土壌」ができることこそ大切だと私も強く思います(細川さんに合掌)。



ジャーナリスト  
(元・日本工業新聞=フジサンケイ ビジネスアイ記者)  
松浦 利幸

### ~日本一明るい経済新聞編集長 竹原信夫氏が NHK大阪放送局より感謝状を受贈されました~

日本一明るい経済新聞の竹原信夫編集長は、3月22日のNHK第88回放送記念日記念式典で、NHK大阪放送局の崎元利樹局長から感謝状を贈呈されました。

平成19年度から6年にわたり、関西で成長する元気な中小企業を発掘し、「おはよう関西」のコーナーにおいて自ら紹介することでNHKの地域放送に大きく貢献された、というのが受賞理由です。

受賞者を代表して、竹原編集長は「元気な会社の社員は褒められて頑張っています。私も今回感謝状をいただき、褒められたのでさらに頑張って、良い番組づくりに貢献したい」とあいさつされました。

おはよう関西は、毎月、日本一明るい経済新聞に掲載された企業を中心に、NHKおはよう関西で午前7時50分過ぎから放映されており、すでに70社を超える元気企業が紹介されています。

これからもさらにご活躍されることを期待しております。

記・一財)VEC関西支部



NHK放送記念日 記念式典での竹原氏ごあいさつ

～地域密着型ベンチャーキャピタルとして「個と個の創発」を促進するシェアオフィスを展開～

膨らんだ蕾が待ちきれずに次々花開き始める桜たちに見守られ、2013年4月1日、今西土地建物（株）とフューチャーベンチャーキャピタル（株）（以下、FVC）が連携したシェアオフィス「share YODOYABASHI deck（大阪市中央区北浜）」がオープンとなりました。

share YODOYABASHI deckはFVCにとっては2つめのシェアオフィスとなります。2011年7月に京都のビジネス街の中心である四条烏丸にて、京都の不動産会社との共同事業として「share KARASUMA」をオープンしました。ベンチャーキャピタルであるFVCがこうしたシェアオフィス事業を展開する理由は、地域密着型ベンチャーキャピタルとして、地域経済の活性化に寄与する起業家や事業家を育てるエコシステムを作ることが私達の使命と捉えているためです。

今までもインキュベーション施設は存在しましたが、FVCはIPOを目指す株式会社はもちろん、地域の中堅企業、起業したばかりの起業家までもが同居して価値を生み出す新しい形のインキュベーションオフィスを目指しました。それは「個」と「個」を結ぶ中で、新たな価値を創り出すことでした。シェアオフィスという協働の「場」を提供すると共に、起業家のメンタリングや事業者のマッチングなど個と個に焦点を当て、事業者同士をつなげる中で、全く新しいインキュベーションの役割を果たせるのではないかと考えました。

現在、share KARASUMAは100名を越える会員に利用していただいています。会員は20代から60代まで幅広い年齢層であり、多岐にわたるビジネスを手がけていらっしゃいます。利用者属性が多岐にわたるため、必然的に様々なコラボレーションが生まれ、今では、会員同士の繋がりの中で新たなビジネスが次々と生まれています。こうした会員同士の繋がりが生まれるのも、オープンなオフィス空間の中で気軽に情報交換が出来、同じオフィスを使いお互いの想いを知る仲間だからこそではないでしょうか。

ベンチャーキャピタルはよく「人の交差点」と言われます。今後も、地域経済の活性化を願う事業パートナーと手を取り、「人の交差点のプラットフォーム」となるシェアオフィスを全国に広げていきたいと考えています。そして、各地域のシェアオフィスをつなぎ、地域間を越えた交流を促すことで、個々の事業者により多くの成長機会を提供していきたいと考えています。今後も応援の程、宜しく願いいたします。



フューチャーベンチャーキャピタル株式会社  
新規事業開発部 インキュベーションマネージャー 外山 和恵

～高齢者雇用安定法が改正されます～

ご存知のとおり本年4月1日から施行されました。

**主旨**は本年4月から公的年金の報酬比例部分の支給開始年齢が段階的に上げられ60才定年以降、無年金・無収入となる人が生じる可能性があることが主な理由のようです。

**影響**は企業の立場からみてプラス・マイナスがありそうですが、高齢（ベテラン）社員が継続雇用により企業に利益寄与する動機付けの方策や組織体制の見直し等も必要となりそうです。

**改正の概要（抜粋）**

- ・ 今回の改正は定年引上げを65才に義務づけられているものではないとの事ですが、希望者全員を雇用する必要があるとの事です。（但、事由によっては継続雇用しないこともできる。またパートや契約社員等の雇用形態にすることはできるようです）
- ・ この制度の対象者はグループ企業（親会社・子会社・関連会社）まで拡大される。
- ・ この制度を実施していない企業に対して勧告に従わない企業名を公表される。

少子高齢化により国民全員参加型社会の実現が求められている中、この制度があらゆる面で活力を生むことを願っています。尚、詳しくは専門家や担当官庁にご確認下さい。



（資料・HP等）

**VECレポーター  
うめきた「グランフロント大阪」が開業！**

すでに話題となっています複合ビル群「グランフロント大阪」が4月26日にオープンしました。開業に先立ち施設内を見学することができましたので、その一端を紹介します！

ビルの前に立つと、とにかく巨艦です。三菱地所など12社の企業グループが取得し、総事業費は6000億円規模と言われており、5,000人の雇用を生み出し初年度売上400億円、集客目標2500万人との事です。特色は産官学集積拠点「ナレッジキャピタル」で先端技術の発信や交流の場となります。

商業施設や飲食店などは266店舗でスペースもゆったり感があり、別のビルには英国系高級ホテル「インターコンチネンタルホテル大阪」がオープン。また隣接する高級高層マンション（525戸）はすでに完売らしく、オフィスはこれから順次入居となるそうです。

当日はすごい混雑でありましたが「近畿大学水産研究所」という看板の養殖魚専門料理店の前は長蛇の列。ロート製菓の野菜工場とそのレストラン、リラクゼーションサロンは注目です。日本初や関西初、それに午前4時まで営業する飲食店もあるなど、この開業が関西の元気発信となることを期待しています。



～VEC関西より～

- ・ 最近、電車に乗ると、約7～8割の人が一心にスマホやっています。横から覗くと、漫画も見れるのですね。私は、電車に乗ると、美人が居るかなあ～とか、桜が散ってしまったなあ～とか、キョロキョロしていますが、スマホばかり見ていると知らないうちに目を悪くしたり、最近の流行とか、わが国の進む方向とか・・・。なんだか音痴になってしまわないか心配です。素晴らしい恋も生まれませんよ！！取り越し苦労でしょうか？（本田）
- ・ 春到来。郊外の大形ホームセンターへ買い物に行き何気なくガーデニングコーナーの色とりどりの沢山の花々を見ているうちに気がつけば数種類の花を買っており、家の庭に即初心者ガーデニングを始めております。自分が花に対するケアに花も正直にこたえてくれるのが嬉しいことです。色彩には乏しかった庭がこれから花で少しずつ色づいていくのが楽しみです。（濱本）
- ・ 東京を中心にご活躍の松浦利幸様から初めてのご寄稿を賜り、皆様の素晴らしい理念をご紹介いただきました。日本一明るい経済新聞の竹原編集長がNHKから地域放送に多大の貢献をされたことにより感謝状を受章されました。心よりお祝い申し上げます。フューチャーベンチャーキャピタル様のシェアオフィスが活用されることを期待します。（澤村）

<交流会の予定>

平成25年6月25日（火） 株式会社日立パワーソリューションズ  
（旧株式会社日立エンジニアリング 他）  
関西支店長 富山 正夫 様  
省エネセンター グループリーダ主任技師  
植野 和雄 様

一般財団法人 ベンチャーエンタープライズセンター関西支部  
〒541-0053 大阪市中央区本町2-3-6 本町ビジネスビル9階  
TEL 06-6263-0366 FAX 06-4964-6293